

第13回全国和牛能力共進会北海道大会 開催決定

～平成14年ころより北海道開催の声が上がるが立ち消えを繰り返す…

- ・平成25年ころ全共開催について議題として協議を始める
- ・平成30年改良組合等へガイドラインを示し同意書の送付
- ・令和元年北海道和牛振興協議会総会にて誘致要請決定
- ・令和2年第13回全共北海道誘致推進協議会設立、誘致決定
- ・令和2年11月全和理事会で北海道開催が決定
- ・令和3年6月第13回全共準備委員会設置
- ・令和4年6月ころ第13回全共実行委員会設置予定

第13回全国和牛能力共進会 北海道大会に向けた取り組み



北海道和牛振興協議会

一般社団法人 北海道酪農畜産協会 家畜登録改良部 岸 大輔



令和2年8月21日
第13回全国和牛能力共進会
北海道誘致推進協議会
設立会議



令和2年8月21日 北海道和牛振興協議会主催 北海道産和牛肉試食会



「北海道で生産される和牛の改良をより一層進めつつ、和牛産地としての道産牛肉のブランド力向上を推進する上で、そのアピールの場となる**全国和牛共進会の北海道開催は、またとないチャンス**であり会長として、しっかりと役割を果たしていきたい」
鈴木全共北海道誘致推進協議会会長(知事)

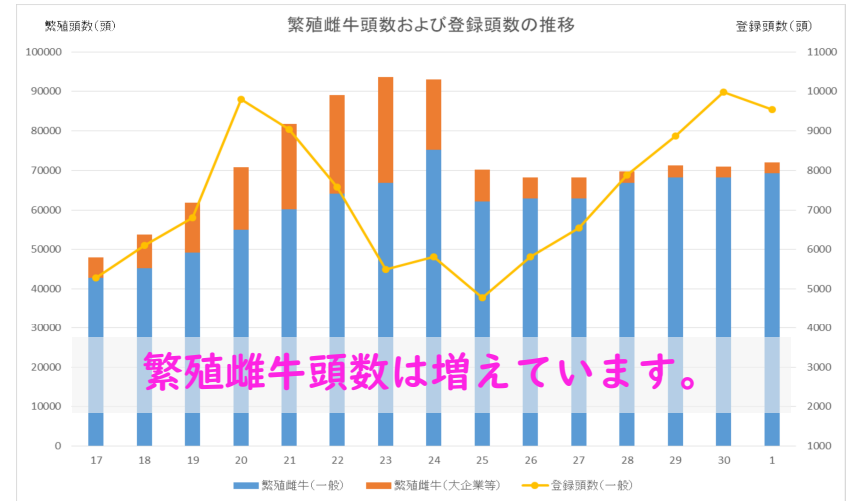
大変な苦勞を経て、見出だされ、レベルアップしてきた道産和牛を、どうしても皆さんに知っていただかなければ、産業が盛り上がっていかない。生産者の皆さん、関係する皆さんの思い、今日、素晴らしい、口の中でとろける味を味わってしまいましたから、みんなで**全共を一つのステップとして、道産和牛のPRに会長としても知事としても全力で取り組んでいきたい**」
(鈴木知事)



令和2年10月19日
第13回全国和牛能力共進会
開催地現地調査
(鈴木全共北海道誘致協議会会長(知事)と
全国和牛登録協会向井会長)

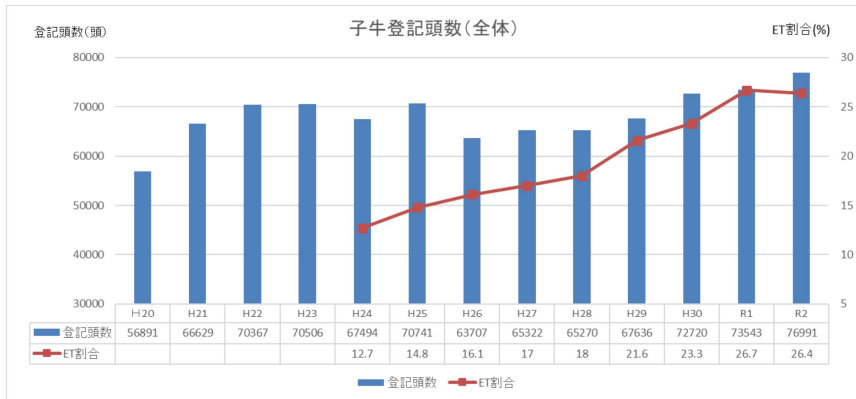
歴史ある大会に手を挙げ、**北海道の牛肉を皆さんに評価いただき、確固たる地位を確立していくため、誘致の要請をさせていただいた。万全の準備を進めていきたい。**
道内の関係機関・団体が一体となって、**北海道らしい特色ある和牛づくりに取り組み、それを多くの方々に知っていただく努力もしていきたい。**
鈴木全共北海道誘致推進協議会会長(知事)

2. 北海道の現状（繁殖雌牛の頭数の推移）



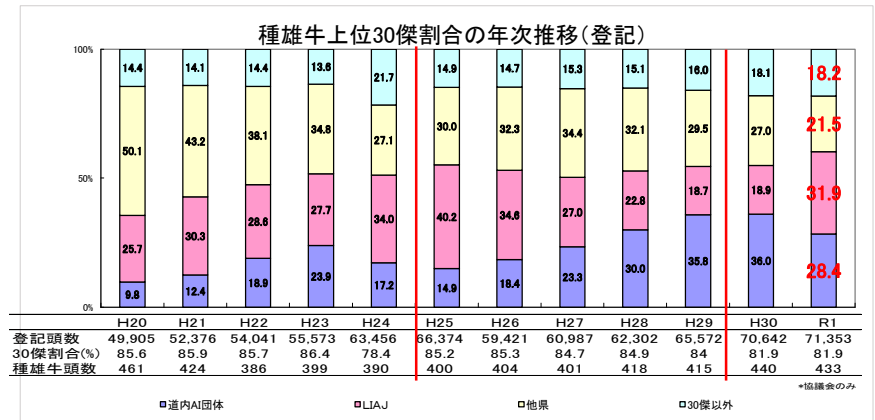
H25以降はトレサによる廃用牛除外

1. 北海道の現状（子牛登記頭数の推移）



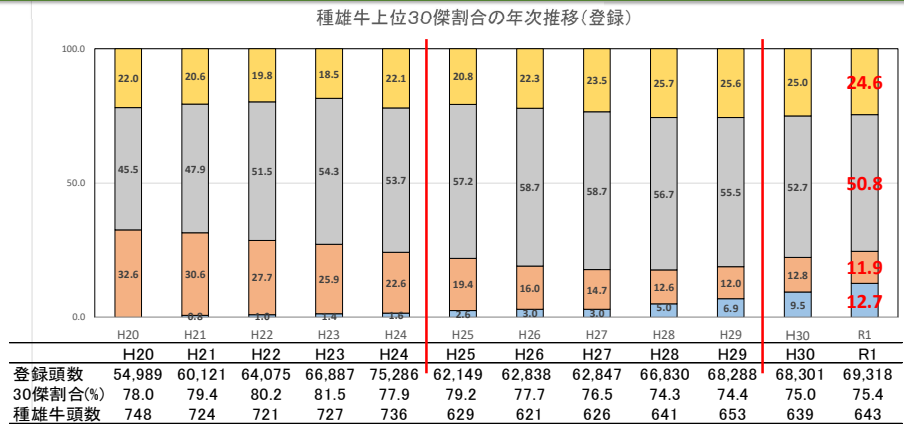
登記頭数は増えています。ETは26%です。

2. 北海道の現状（子牛登記牛の父の割合）



道内種雄牛の利用は増えています。

2. 北海道の現状（登録牛の父の割合）



父道内種雄牛の繁殖牛は増えています。

3. 全共挑戦の変遷

チーム北海道の結束
北海道の信念
北海道らしさを表現

団体表彰
6席

第11回
宮城全共

第12回
鹿児島全共

第13回
北海道全共
大ジャンプ
のよてい

若手生産者の活躍
出品技術の向上
チームの団結

第10回
長崎全共

育種組織の出品
上位入賞

第9回
鳥取全共

本格的参加

第8回
岐阜全共



3. 全共挑戦の変遷

北海道らしさ

- 草資源を最大に利用
→ 消化器の発達した牛
- 寒冷にも耐える
→ 呼吸器の発達した牛

HOKKAIDO PRIDE

北海道らしさ
↓
地域の気候風土
に適合した牛



3. 全共挑戦の変遷

種牛

【宮城全共第5区】北平安

- 道内種雄牛産子での出品を目標としたが苦慮
- 生産者の強い気持ちにより北平安産子で出品
- 少ない候補牛の中で北海道らしい牛を選抜

HOKKAIDO PRIDE

信念



3. 全共挑戦の変遷

H黒-187「勝早桜5」 黒14289
黒原2047

北海道産種雄牛を
 全国へPR
 ↓
 北海道の遺伝資源
 の展示

TW-23花国安福 黒原4899

梅栄福 HOKKAIDO PRIDE 勝平1

4. 北海道大会へ向けて

北海道和牛振興戦略プランの策定

- 北海道の生産者団体および関係団体で構成する**北海道和牛生産戦略会議**では、令和3年に北海道の和牛振興を図るための関係者の共通の指針となる「**北海道和牛振興戦略プラン**」を策定。
- プランを基に関係団体が一丸となり共通する目標に向け取り組みを開始。

3. 全共挑戦の変遷

H黒293 英貞 黒原6080(87.8)
A-5 BMS.12
英貞 × 美津照重

現場後代検定成績(去:15頭 雌:11頭) 枝肉重量498k BMS No.8.7

第11回全共 第1区若雄 優等賞 4席

091_4093

勝早桜5 × 百合茂 × 安系福 H27.12.17生

提供: 社団法人 ジェネティクス北海道

4. 北海道大会へ向けて

「北海道は日本を代表する和牛産地」として 全国に認められる産地を目指します

- | | |
|---------|---|
| 和牛の生産 | ①人づくり・組織づくり
②持続可能な生産基盤の強化 |
| 和牛の改良 | ③繁殖雌牛の能力向上と適切な保留
④特色ある種雄牛の造成
⑤全国和牛能力共進会での上位入賞 |
| ブランドづくり | ⑥道民が食べたい北海道産和牛肉を目指したPR活動
⑦北海道産和牛肉の道外、海外への発信 |

4. 北海道大会へ向けて

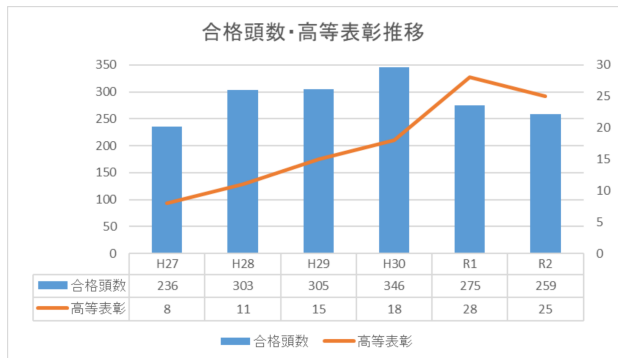
和牛の生産

- ①人づくり・組織づくり
- ②持続可能な生産基盤の強化

(方策の一部抜粋)

- 中核的な生産者を対象とした次世代リーダーの養成を図るため「**和牛マスター研修会**」を開催します。
- 若手生産者や関係機関を対象に地域の登録事業や審査に精通する技術者の養成を行うなど、「**集団による和牛改良**」という基本理念の継承を図ります。
- 受精卵を活用した和牛子牛生産やスマート農業技術を活用した効率的な生産体制の構築に向けた取組を推進します。
- SDGsの達成に向けた取組や、和牛生産をとりまく環境や動物福祉に関する世界的な課題に適切に対応するなど、持続可能な生産に向けた取組を推進します。

4. 北海道大会へ向けて



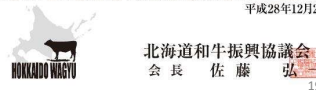
高等登録 4代 達成記念

生産者名 殿
 名号 ここあ号 86.0点 平成23年2月7日生
 登録番号 黒高218004 個体識別番号

黒高218004	1.30	1.382.8	1.652.4	2.10	7.5	5.0	5.0	5.0	5.3	3.8
----------	------	---------	---------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

菊福秀 3代
 菊谷 第1ゆきこ
 平茂勝 2代
 あいり 黒高214053 (84.1)
 さくら 黒高210937 (83.6)
 北国708 新代
 のりかね2 黒高210126 (83.2)
 金幸 のりこ6 黒高844171 (82.2)
 神高福 のりこ6 黒高6475 (82.0)

これまでの和牛改良に対する努力に敬意を表し、これを贈ります。
 平成28年12月22日



4. 北海道大会へ向けて

和牛の改良

- ③繁殖雌牛の能力向上と適切な保留
- ④特色ある種雄牛の造成
- ⑤全国和牛能力共進会での上位入賞

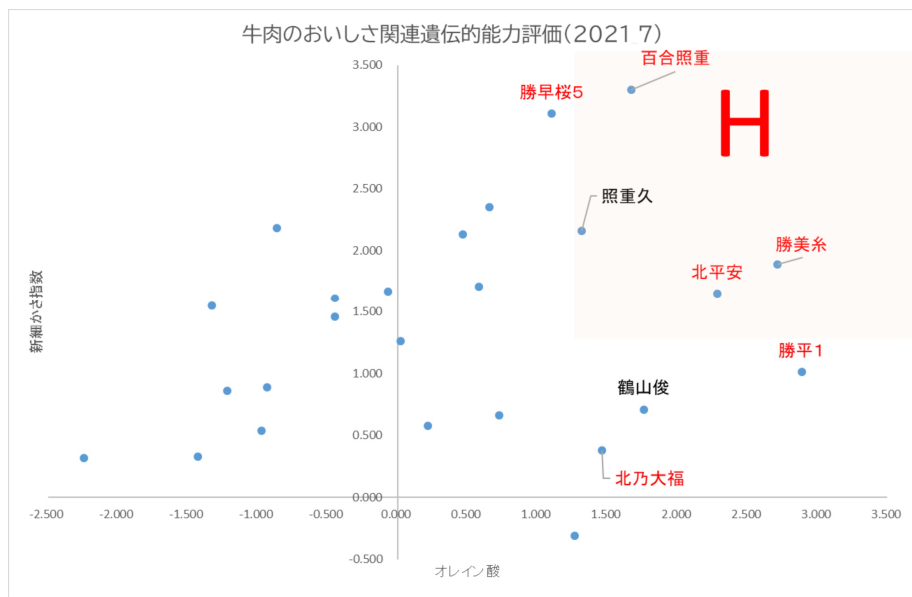
(方策の一部抜粋)

- 育種牛や高等登録牛を中心とした優良繁殖雌牛の系統内での後継牛の保留を進めることにより、優良繁殖雌牛基盤の整備を図ります。
- ゲノム育種価や受精卵移植技術など関連する技術開発を推進し、優良繁殖雌牛群の改良を加速化します。
- オール北海道の関係機関・団体等からなる種雄牛造成を検討する場を設け、改良の方向性の協議や情報の共有を図り、北海道らしい特色ある種雄牛を造成します。
- 全共上位入賞に向けて、出品技術を指導する技術者の養成や技術研鑽の支援など、生産者と関係機関・団体が一体となって取組を推進します。

4. 北海道大会へ向けて

能力評価一覧

項目	肉質評価				繁殖性		飼料の利用性		血統情報			
	産肉能力6形質		脂肪の質 (オレイン酸)		新細かさ指数 (コザシ)		分娩間隔		余剰飼料摂取量		系統分類	
評価内容	育種価	ゲノム	育種価	ゲノム	新細かさ指数	ゲノム	育種価	ゲノム	育種価	ゲノム	血縁係数	ゲノム
評価実施	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	▲	○	○
公表	○	○	○	○	○	○	○	×	△	×	△	○
実施団体	協会	畜試 LIAJ	畜試	畜試 LIAJ	畜大	畜試	全和	全和	全和	全和	全和	全和
解析試料	枝肉情報	SNP	枝肉脂肪 (光学)	SNP	枝肉画像	SNP	繁殖情報	SNP	直接検定	SNP	血統情報	SNP



4. 北海道大会へ向けて

ブランドづくり

⑥道民が食べたい北海道産和牛肉を目指したPR活動

⑦北海道産和牛肉の道外、海外への発信

(方策の一部抜粋)

○ 北海道産和牛肉の知名度向上のため、道内の肥育生産者や食肉・流通関係等による検討の場を設け、北海道のイメージを活かしたブランドづくりや消費拡大に向けて生産者や関係団体が連携して必要な取組を進めます。

○ 第13回全国和牛能力共進会北海道大会は、北海道産和牛肉を世界にPRする大きなチャンスであることから、生産者・関係団体や関連する業界団体の連携・推進体制を整備し、オール北海道で情報発信に取り組みます。

TRADITION



- テーマは “伝 承”
- 北海道の和牛は、昭和30年代から中国、中部、九州、東北地方とそれぞれの育種産地で育種改良された素材で作られてきた歴史がある。
- その牛達は、北海道の厳しい環境の中で淘汰・選抜され、適合した雌牛の子孫が今の北海道の繁殖雌牛の基礎となっている。
- 北海道全共は、これまで貴重な遺伝子をいただいた各県の生産者等への感謝と、北海道の環境で花を咲かせた各産地の和牛の子孫や北海道で造成された種雄牛で育種された和牛を“種牛産地北海道和牛”の集大成として披露するための大会とする。

北海道和牛振興協議会